

だれでも幸せになれる教えです!!

# ひかり

2025年

7月

239号

◇ 転んだら起きる、起きたらすぐ走る  
◇ おしゃれな人生とは



幸せを胸いっぱい

初夏のひかり

ひかり



ホームページ

宗教法人 真生会

令和七年信仰目標

# 仏の智慧を身に付けよう!!

『自分の成長と人救いのために』

## 真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

### ◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

### ◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

### ◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

## ～お知らせ～

### 行事法要のご案内

#### 法華三部経読誦 土用修行

総本山真生寺

7月19日(土)～7月23日(水) 10:00より

YouTubeにてライブ配信予定

※各教会の土用修行期間については日程表にてご確認ください

#### 三十一回忌

教母さま胡蝶忌(読経供養) 7月31日(木)

真生会を開祖さまと共に創立くださった田中君枝教母さまのご遺徳を忍び、生前お好きであられた胡蝶蘭を供花に会員信徒一同、報恩感謝の祈りを捧げましょう。



### 大阪教会 新築建て替之寄進 ～申込受付中～

申込期間：令和7年12月末まで

納入期限：令和8年3月末まで(分納可)

※詳しくは総本山・各教会にお尋ねください。

建設計画についてのお知らせ

竣工時期変更 本年秋予定⇒来年冬予定(2月頃)

真生会御詠歌集く其の一く

真生会御和讃に

釈迦牟尼世尊しやくかにせそんの後にあと立ちた

一切衆生いっさいしゆじやうを救護くごをする

広宣流布こうせんるふの旗立はたてて

教団建立きやうだんこんりゆう偉ひで仁ひと師し

光り輝ひかがやく白蓮華びやくれんげ

五濁悪世ごじよくあくせを遠離おんりして

不自惜ふじやくしん身命みようぎ行ぎやうずれば

無上菩提むじやうぼだいの世よとぞなる

天地てんちの真理しんり妙法みようほうは

上三宝かみさんぼうに父母ちちははの

慈恩じおんに報謝ほうしゃを誓ちかいつつ

一心行いっしんぎやうの道みちをゆく



迷悟めいご苦楽くらくの世よの中なかを

因果いんがの理法りほうで説ときあかす

佛所護念ぶつしよごねんを憶念おくねんし

歡喜躍動かんきやくどう菩薩行ぼさつぎやう

真生しんせい一路いちろの大法だいはうは

一念喜愛いちねんきあいの信しんに生いく

妙法蓮華みようほうれんげの旅たびの空そら

世尊せそんと共ともに我われ歩あゆむ



御詠歌は仏・菩薩・祖師を讃えるために歌われますが、真生会では法要・法座の始まりにご本仏様の御前において唱和し、奉納します。仏を讃嘆すると共に自身が素直に実践するところに真の幸せの道を歩んでいける賛歌です。



## 開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

たなか ひでひと

夫婦の道。ガメツイ女房にひ弱な夫。優しい妻に力強い夫が世の中のワンセットです。夫婦は車の両輪、鳥の双翼、助け合い協力して初めも異なり、性別も違うのですから合挽ぬのが当然ですが、合わせる努力を怠おこたつたら毎日暗黒の生活が続き、生き甲斐すら無くしてしまいます。

夫婦はお互いの欠点をかばい合い助け合って、建設的に物事を運ぶ人が立派であって、破壊的に考えるのは愚かな人の歩む姿である。どんなに可愛いペットの犬でもせっかく飼い主が作った犬小屋も、喜ぶどころか所かまわずかじり破壊するのが畜生の本性である。万物の霊長である人間の素晴らしさは、壊れこわれそうなものでも手直しし、意に添わぬことでも建設的に事を運ぶところが、畜生に勝る人間の美たる特徴であります。

(1984年、真実に生きる50号より)

# ぶし眞教法話

会長 田中庸仁  
た なか つね ひと



◇転んだら起きる、起きたらすぐ走る

開祖さまの信念であり名言です。

人生は変化するもの。大きな山あり谷あり、小さな凸凹あり。だから誰でも転ぶことがある。

一度や二度転ぶのは普通である。一度転んだからこそ見える世界がある。転んだことのない人生の方が危うい。

経済苦、病苦、人間関係苦という人生の谷底に墜ちる時もある。谷が深いほど山は高い。苦しみが深いほど乗り越えれば、登る幸せの山は高く大きいのです。

深い谷に墜ちた時、絶望して自分の不運を嘆いて下を向いたら石ころだらけ。守りたい人、守らなければならぬ人を思つて見上げれば、無限の青空が広がっ

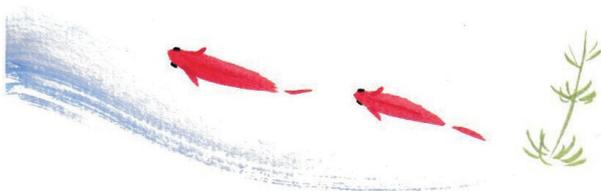
ている。そこに未来と希望が見えてくる。

すべてに有り難いと手が合わさり、本当の幸せ、身近にある当たり前と思っている幸せに気付くため、仏さまが与えて下さった抜苦与樂の試練なのです。本当の幸せと成功の感動は、谷底から自分の力で這い上がってきた時に得られるのです。

登山家が途中苦しく辛い思いをしながら、時には命がけで頂上を目指すのは登頂した人にしかわからない達成感があるのでしよう。

私たちの人生も五合目、八合目、九合目では一部の景色しか見えないのです。頂上に到達して初めて大自然の全方位三百六十度を見渡せる素晴らしい大パノラマの感動が得られるのです。

仏の境界、悟りという心の頂上に到達した時に人生の本当の景色が見渡せ、宇宙の大生命に抱かれて生かさ



れている現実、「生かされている喜び尽きることもなく」（柴垣聖祖さまの御教え）という感動が湧き出てくるのです。

勝つことばかり知りて負くるを知らざれば、害その身に至る。おのれを責めて人を責めるな。及ばざるは過ぎたるより勝れり。（徳川家康の遺訓）

※勝つことだけやトントン拍子の成功体験ばかりで、負けることや失敗の苦勞を知らないとかえって害が身に及び滅びる危険がある。自分の行動については常に反省し、人の責任を攻めてはいけない。自分の足りないことを知る謙虚な人の方が、調子が良すぎて慢心している人より優れている。

家康は幼少期を今川家で人質として育ち、一国の主あるじとなつてからも列強おびやに脅かされ、何度も戦いくさに負けた苦勞の経験があればこそ徳川幕府二百六十五年の基礎を築いたのです。

私たちも苦を乗り越えては次の幸せ、また苦を乗り越えては次の幸せがやって来るのです。その真理が分かれば、《苦勞がやって来る度にまた次の新しい幸せがやって来る時が来た》と苦もまた楽しみに切り替える人生が送れるのです。その受け止め方を学ぶのが仏教なのです。

◇おしやれな人生とは

今月七月三十一日は教母さまの胡蝶忌こちようき、三十一回忌祥月ご命日です。総本山、各教会のお盆法要で報恩感謝の読経供養が営まれます。是非ご参拝頂き一緒にお祈りを捧げ、教母さまの家庭を支えられた人間力にあやかりましょう。

教母さまは晩年大病を克服された後、長年の内助の功の陰役を卒業され、開祖さまと各地にご法流布の種まきあんぎゃに行脚される日々を送られ、ある会場で「おしやれな人生とは」という体験法話をされました。

教母さまは独身時代、ミス岐阜県庁の美人で抜群の美的感覚の持ち主でしたが、本当のおしやれは外見の美しさや豪華できらびやかなファッションではなく、心のおしやれが本当のおしやれであると話されました。

心のおしやれとはなんでしようか？



① 困ったことや苦労を人のせいにしなないこと。

② いつも前向きに生きること。

③ 辛くても自分の使命から逃げないこと。

④ 学ぶ心、研究心を持ち、常に新しいことに挑戦すること。

まだ、たくさんあるでしょうが、何事であろうと世の中や人を恨ま<sup>うら</sup>まず、希望を捨てず、前向きに積極的に向<sup>ま</sup>上心を持ち続けることがおしやれな人生だと身をもって教えて下さいました。

教母さまは開祖さまとの結婚に際し、師匠の栗山法明先生から、

「田中家は菓子製造販売の商売をして見えるが、一年後にはたぶん倒産します。そして、夫となる田中さんは結核の病み上がりですが、将来きつと見込みのある青年だから、嫁に行きなさい。そして倒産したら、田中家の財布を握り経済を立て直すのです」という密命<sup>みつめい</sup>・ミツションを受け、師と妙法の教えを信じて嫁がれたのです。

一年後、長女が生まれて間もなく、師の予言通り倒産し、家も土地も嫁入り荷物も家財道具も子供の衣服も債権者の手に渡りすべてを失ったのです。

アパート暮らしから始まり、教会での三畳一間の炭小屋暮らし、古屋の貸家と居を移しながら、睡眠時間三時間の既製品の内職を十六年続けられ、開祖さまの布教を陰で支え続けられました。

- ①想像を絶する大貧乏の生活にも愚痴をこぼしたり、家族や師や教えを悪く思われることはありませんでした。
- ②きつとよくなる。今によくなるという開祖さまの教えと信念を信じ、前向きに希望を持ち続けられました。
- ③道心の中に衣食あり。夫は修行中の限られたお手当の中、どんなに苦しくても内職を頑張り、やりくりの智慧を使い、開祖さまにはお金が足りない、生活が苦しいという愚痴をこぼさず、師の密命を守り続けられました。
- ④開祖さまの布教の手かせ足かせにならないよう、家庭のことや子育て、隣近所や親戚との付き合いなどは一手に引き受けておられました。



そんな中、私たち五人の子供には「行き当たりばったり闇雲やみくもに頑張るのではなく、物も道具もどこに置いたら次邪魔になったり置き直す二度手間にならないか、こんなやり方をしたら物が壊れてしまわないかなど、常に先のことまで考えて行動しなければいけない」とよく教えられました。

また人の仕事する姿から見て学び、どのようにすればあのように出来るのか研究し、人にできて自分にできないはずはないとあらゆることに挑戦されました。ほとんど夫は布教で不在でしたから、廊下ろうかの板張り、ペンキ塗りなど家の修繕から大きな家具の移動など男顔負けの働きをし、家と家族を守り続けられました。法座の時などは、一人で狭い台所で短時間の間に百人ほどの参拝者にうどんや五目御飯などを手際よく作り、もてなしておられました。

晩年は、編み物、虎や鶴や薔薇の花の刺繍画、書道、写仏、水彩画、印刻など、ほとんど独学で研究し、作品を作っては人に差し上げておられました。

貧しくても心は錦に輝いていることが「おしゃれな人生」なのだとして示されました。

教母さまのご遺徳あずかに与れるよう祈りと実践に励みましょう！

## 先師の名言、名句



◇宿命の荷物は重し

「此の道に生る」

此の道に生る

教母さまの作品です。

画も書も右下の印鑑もすべて教母さまの直筆、手作りの作品です。

師から託された使命はやがて教団を開教する夫を支える大変重く苦しい宿命の荷物だったことでしょう。

しかし、師と教えと教えに生きる夫を信じ、妙法の教えに守られ支えられ、妙法蓮華経の布教の道に行き続けられた教母さまの生き様そのものの作品です。遠く彼方にそびえる幸せの山に向かって歩まれる決意とぬくもりが感じられます。

# 今月の運勢（8月）

（2025年8月7日～9月6日）

## 一 白水星

一難去ってまた一難、天に愛された人には試練が訪れる。どん底にある時こそ誠を貫こう。困難を嫌えば凶となり成長の糧と思えば吉となる。先祖供養の徳積みで難関突破。必ず道は開けてくる。

## 二 黒土星

一歩下がって進む時。相手の見た目ではなく本質を見抜くこと。思いやりの心で相手を支える包容力と協調性が大切。人を敬い相手を立てて行けば理想の主人を得て成功する。

## 三 碧木星

天災は避けられないが

人災は防げる。雷鳴の

ような大騒動に立ちずくんでしまい自分を見失わないこと。慎重であつても臆病であつてはならない。神仏を祈つて乗り越えよう。

## 四 緑木星

人の気持ちを抑み、相手の腹の中に入り込むことに徹すること。そのためには謙虚であること。しかし優柔不断は禁物。人間関係作りは柔らかく笑顔で接すること。

## 五 黄土星

泰然たいぜんじやく自若として腰を落ち着けジタバタ動かないこと。周囲の状況をよく把握し、身を削つ

て人を育てることに資

本を掛ける時。新しことや大きな事を始める時ではない。

## 六 白金星

前向きに一生懸命頑張ること。動機が正しければ願ひ事は大いに叶うが一貫性と持続性が大切。但し、やり過ぎや独走に注意して活躍すること。自分流ではなく天意に従うこと。

## 七 赤金星

嬉しいこと楽しいことなど喜びの情を積極的に話そう。但し口は禍の元、軽率な軽口や冗談で相手を傷つけないように注意すること。願ひが通り悦びが得ら

れるが、道を外れた悦

びは害あつて益なし。

## 八 白土星

山のように動かないのが一番の時。進むばかりではなく止まることも学ぼう。欲を止めるブレーキを踏む勇気が大きな成果につながる。望外の喜びも不慮の災難も天の計らい。結果は自分の心次第。

## 九 紫火星

何事も自分一人で行うとすれば凶となる。仕事も家庭も良きパートナーと協力し、相手の言葉に素直に耳を傾け謙虚な気持ちを失わず、正しい関係を保てば願ひは通る。

## 「まごころ誌代」御礼

滝本光夫	堀田純子	樋口恵美子	佐藤光洋	堀部恭利
岸本昌子	滝山恵依子	樋口容子	伊東 晃	早野桂子
岸本しげ子	永田雅子	谷口祐晟	安田初子	高橋身衣
岸本周夫	出田 渚	谷口祐子	田中庸仁	山田佳延
東森敦己	荒木敬依子	長尾夏芳里	田中佑季子	加藤祐記子
東森弘和	長尾教子	石丸祐視子	田中祥陽	早野起世
広田えり子	坂本育身	細谷早予子	田中理夏子	松尾定洋
加納悠貴	平口富子	宮島りえ	田中宏明	豊田直正
加納快志斗	小村友子	土川順寛	田中花音	豊田真悠子
加納宏樹	笹原トミ子	土川恭代	亀井善広	平工初子
岸本周夫	笹原正子	土川康二	亀井由実子	鈴木快法
福元正子	村上視佑記	土川廣美	熊田啓予	大橋千枝子
亀井善二	大下裕子	横山知津子	多田佳央	飯田昌子
京川春男	大西啓依子	山本季美衣	宮田雄貴	飯田修五
鈴木正巳	坪井祥子	佐藤百々枝	足立和美	加納啓至

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。  
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

### 《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺  
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地  
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店  
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

## しあわせ眼鏡

自分と未来は変えられる。  
だから、まず顔を上げ、  
前を向いて。そして、  
今を生きることを考える。ひ。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 【総本山真生寺】 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>TEL 058 - 235 - 7304       |
| 【岐阜教会】 〒 500-8882   | 岐阜市西野町 3 - 19<br>TEL 058 - 262 - 9615      |
| 【大阪教会】 〒 532-0028   | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>TEL 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 〒 454-0808  | 名古屋市中川区九重町 3 - 10<br>TEL 052 - 351 - 3904  |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします